千葉市立誉田中学校 学校だより
誉 田 の か ぜ
学校だよりはHPに掲載します

第11号
令和8年10月28日発行
千葉市立誉田中学校
〒291-0012

※この便りについては、目的外使用を固く禁じております

◆未来に向かって・・・退任式、任命式◆



生徒会活動の新たな節目を迎え、新生徒会の体制が始動しました。選挙を通して選ばれた新役員たちは、これからの学校生活をより豊かなものにするため、それぞれの役割を担い、活動に取り組んでいきます。互いの力を結集し、自分たちの手で学校の未来を切り拓いていく新体制の皆さんの活躍を楽しみにしています。

本日は、私から皆さんに2つお話をさせていただきます。

1つ目は、私の生徒会長としての抱負と皆さんへのお願いです。私は皆さんの声や意見を出しやすい環境にするという公約を掲げた通り、この学校をよりよく、そして少しでもこの学校を好きになってもらえるように努めていこうと思っています。当然、すべての意見や声をそのまま実現できるわけではありません。ですが、皆さんの意見や声がなければ、私たちは皆さんが何を考え、何に困っているのかを知ることすらできません。だからこそ、皆さんの協力が必要なのです。これからの学校を変えていくのは生徒である「私たち自身」です。「こうしたらよりよくなるんじゃないか」「こうすればもっと過ごしやすいのにな」という皆さんの声がこの学校を変える原動力によります。私は、この学校を少しでもよりよくできるよう、全力で努めますので、これから一年間よろしくお願いします。

2つ目は、各委員会と生徒会メンバーを代表としての話です。私たちは、「この学校を良くしていこう」という意志のもと立候補し、投票の結果、この学校をまとめる立場にさせていただきました。まだまだ未熟な点もあり、失敗することもあるかもしれません。ですが、それぞれの責任や役割を全うし、全員で、全力で取り組んでいく覚悟です。そして私たち生徒会や各委員長は、今までの先輩方がこれまで築き上げてくださったこの誉田中学校をしっかりと引き継いでいきます。これから1年間どうぞよろしくお願いします。

新生徒会長

私はこの2年間生徒会として活動してきました。振り返るとこの2年間で多くのことを経験しました。私は生徒会に入ったときは何もできなくて、失敗やうまくいかないことが多く、先輩や先生方に助けてもらうたびに、自分が情けなくなりました。このまま生徒会を続けていいのかなと悩むこともありました。それでも、1年やってきた経験を活かして、自分には何ができるのかを考え、生徒会の活動に取り組み、多くの成長と経験を積むことができました。

そして、これからの生徒会を担う皆さん。皆さんの行動が誰かの行動につながり、その1歩がこの学校をよりよくしていきます。皆さんらしい生徒会を作っていってください。

最後になりますが、こんな自分でも生徒会を務めてこられたのは、共に活動する仲間、先輩、先生方のおかげです。私はこの学校の生徒会になれたことを本当に誇りに思っています。ご迷惑をおかけしましたが、2年間ありがとうございました。

旧生徒会長

◆いじめ予防授業◆



９月２８日（月）、千葉県弁護士会の御協力のもと、１年生を対象に「弁護士によるいじめ予防授業」を実施しました。授業では、具体的な事例を通して、いじめが重大な人権侵害であることを学びました。生徒の皆さんは、弁護士の先生方の言葉に真剣に耳を傾け、自分自身を大切にするとともに、相手の気持ちや人権を尊重することの大切さについて理解を深めました。

また、いじめを防ぐには、日頃から互いを思いやり、相手の小さな変化に気づくことが大切です。学校と家庭が連携し、生徒一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう、今後もいじめの未然防止に取り組んでまいります。

◆食生活を見直すために◆



２年生の家庭科では、大宮給食センターの栄養士さんを講師に迎え、「食べ物をむだにしないために、私たちができること」をテーマに、食生活について考える授業を行いました。

授業では、本校の給食における食べ残しの量を具体的な数字で知ることから学習を始めました。年間の食べ残しが 10 トン以上に及ぶことや、一人当たりわずか 30 グラムのご飯を減らすことで、全体として大きな変化につながることを知り、生徒たちは驚きながら数字を見つめていました。

その後、「給食の準備や配膳」「給食を食べるとき」「普段の食事」の三つの場面に分け、食べ物をむだにしないために自分たちにできることを考えました。班で意見を出し合い、互いの考えを比べながら、最後には自分自身が実践することを一人一人が決めました。

食べ物を大切にすることは、単に「残さず食べる」ということだけではありません。自分の体の健康、食を支えてくださる生産者の方々、限りある資源、そして食事を準備してくれる人への感謝など、さまざまなことにつながっています。

※ 11 月の主な行事予定は、第 10 号（10 月 8 日発行）に掲載しています。